

**CASBEE京都-新築(2011年版)**  
**イオンモール京都桂川**

■使用評価マニュアルCASBEE京都-新築(2011年)

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.3</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>								<b>3.0</b>
<b>1.1 騒音</b>								
1 室内騒音レベル					3.0	0.67	-	-
2 設備騒音対策					3.0	1.00	-	-
<b>1.2 遮音</b>								
1 開口部遮音性能					-	-	-	-
2 界壁遮音性能					-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	-	-
<b>1.3 吸音</b>					3.0	0.33	1.0	-
<b>2 温熱環境</b>								<b>3.1</b>
<b>2.1 室温制御</b>					3.1	0.35	-	-
1 室温					3.3	0.50	-	-
2 負荷変動・追従制御性					3.0	0.44	-	-
3 外皮性能					3.0	0.20	-	-
4 ゾーン別制御性				用途・ゾーン別に負荷パターンに合わせたシステム採用	4.0	0.35	-	-
5 温度・湿度制御					-	-	-	-
6 個別制御					-	-	-	-
7 時間外空調に対する配慮					-	-	-	-
8 監視システム					-	-	-	-
<b>2.2 湿度制御</b>					3.0	0.20	1.0	-
<b>2.3 空調方式</b>					3.0	0.30	1.0	-
<b>3 光・視環境</b>								<b>3.0</b>
<b>3.1 昼光利用</b>					3.0	0.24	-	-
1 昼光率				●自然 A(全国版準用)	-	0.54	-	-
2 方位別開口					-	-	-	-
3 昼光利用設備				●自然 B(推奨内容)	3.0	1.00	3.0	-
<b>3.2 グレア対策</b>								
1 照明器具のグレア					-	-	-	-
2 昼光制御				●自然 B(推奨内容)	-	-	-	-
3 映り込み対策					-	-	-	-
<b>3.3 照度</b>					-	-	-	-
<b>3.4 照明制御</b>					3.0	0.46	1.0	-
<b>4 空気質環境</b>								<b>3.3</b>
<b>4.1 発生源対策</b>					3.3	0.25	-	-
1 化学汚染物質					3.0	0.50	-	-
2 アスベスト対策					3.0	1.00	3.0	-
3 ダニ・カビ等					-	-	-	-
4 レジオネラ対策					-	-	-	-
<b>4.2 換気</b>					3.5	0.30	-	-
1 換気量					3.0	0.50	-	-
2 自然換気性能				●自然 A(全国版準用)	-	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮				基本的に屋上で給排気し、6m以上離隔	4.0	0.50	-	-
4 給気計画					-	-	-	-
<b>4.3 運用管理</b>					4.0	0.20	-	-
1 CO <sub>2</sub> の監視					3.0	0.50	-	-
2 喫煙の制御				基本的に全館禁煙で、喫煙室は100回換気	5.0	0.50	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>								<b>3.7</b>
<b>1 機能性</b>								<b>4.1</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>					4.1	0.40	-	-
1 広さ・収納性					3.0	0.40	-	-
2 高度情報通信設備対応					-	-	-	-
3 バリアフリー計画				●大切 D(独自基準)	5.0	1.00	3.0	-
<b>1.2 心理性・快適性</b>					3.6	0.30	-	-
1 広さ感・景観				●とも C(独自加点)	5.0	0.33	3.0	-
2 リフレッシュスペース					3.0	0.31	-	-
3 内装計画				●とも D(独自基準)	3.0	0.36	-	-
<b>1.3 維持管理</b>					3.5	0.30	-	-
1 維持管理に配慮した設計					4.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保				風除室扉距離5000mm確保 ゴミ庫・清掃員控室・各便所SKの設置等	3.0	0.50	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>								<b>3.0</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>					3.0	0.31	-	-
1 耐震性					3.0	0.48	-	-
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>					2.7	0.33	-	-
1 躯体材料の耐用年数				●大切 A(全国版準用)	3.0	0.23	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					2.0	0.23	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.09	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.08	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.15	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.23	-	-

2.4 信頼性				熱源やファンのモジュール化、耐震吊り対応 2槽の受水槽の耐震化、節水便器採用	3.6	0.19	-	-	
1	空調・換気設備				4.6	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備				4.6	0.20	-	-	
3	電気設備				3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					3.8	0.29	-	-	3.8
3.1 空間のゆとり					5.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり			5400mm(1階は5800mm)の階高	5.0	0.58	-	-	
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)	耐震壁の外周配置	5.0	0.42	-	-	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性					3.6	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)	余裕ある天井裏スペース(1.5m前後)	3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		4.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)	基本的に設備機器は駐車場に面し設置	5.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース				3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.34	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出		●とも	A'(全国版準用)		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		○	C(独自加点) D(独自基準)		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	●とも、 自然	A'(全国版準用)	イベント広場・芝生遊び場の設置	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	●とも	A(全国版準用)	室外機、煙道排熱は屋上(10m以上)で排熱	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	4.4
1 建物の熱負荷抑制				PAL低減率 物販店舗20.7%	4.3	0.19	-	-	4.3
2 自然エネルギー利用					4.5	0.23	-	-	4.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	●自然	A(全国版準用)	塔屋からの太陽光取得	4.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	●自然	A(全国版準用)	太陽光パネル460KW	5.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化					5.0	0.35	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)				ERR=52.5%	5.0		-	-	
集合住宅の評価					4.0		-	-	
4 効率的運用					3.5	0.23	-	-	3.5
4.1	モニタリング			電力、熱量など、建物の半分以上のエネルギー一把握	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護					3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水			節水便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	●自然	A(全国版準用)		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					3.5	0.63	-	-	3.5
2.1	材料使用量の削減	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)	再生木材デッキの使用	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	●自然	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	●大切	A(全国版準用)	躯体+軽鉄+仕上げが主たる構成	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					2.7	0.22	-	-	2.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避				2.6	0.68	-	-	
1	消火剤			防災センターに窒素ガス消火設備	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)				1.0	0.33	-	-	
3	冷媒				3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮					4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮					3.2	0.33	-	-	3.2
2.1	大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	●とも	A(全国版準用)		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制				4.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			厨房排水除害設備を設置	4.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制			駐輪約2500台・駐車約3000台、駐輪・駐車管制	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			ゴミ庫、ごみカート置場等の設置	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.1	0.33	-	-	3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音				3.0	0.50	-	-	
2	振動				3.0	0.50	-	-	
3	悪臭				-	-	-	-	
3.2	風害、日照阻害の抑制				3.3	0.40	-	-	
1	風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制				-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制				4.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制				3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	●大切	B(推奨内容)		3.0	0.30	-	-	

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う「とも」:ともに使う「自然」:自然からつくる